

9.25 投函
(168)

--- ニュースレター ---

あ る が ま ま (仮称)

高良武久・森田療法関連資料保存会

ニュースレター発行にあたって

会長：藤田 千尋（常盤台神経科）

「蒼蠅驥尾に付して千里を致す」という言葉があります。森田療法も森田、高良両先生という優れた先駆者によって多くの後継者が立派に育ち、今では、千里どころか遠く中国や米国、更にはヨーロッパにもその名が広がっております。そのような実情は、私たち森田療法に携わっているものにとっては誠に喜ばしいことと思いますが、その一方、このお膝元はどうでしょうか。

ご承知のように、昨年5月20日の高良武久・森田療法関連資料保存室の完成を記念して祝賀会がもようされ、それを機に有志の合議で同保存会が発足しました。ささやかではありますが、増野肇先生のご尽力でその機構も定まり、会員も60名を越すほどになりました。事業計画としては、図書の収集、整理、保管、リスト作成などを手始めに、その展示や、閲覧などを拡充的行なうことにしております。その他、PRとしてビデオの鑑賞ニュースレターの発行などを致します。

何れにしても、この高良武久・森田療法関連の資料室というお膝元を明るく照らし、その普及に努め、「虚にして往き、実にして復る」ような保存会でありたいと思っております。

2001年 9月吉日

事業計画

1、森田療法関連の資料の収集

現在ある図書の整理

必要とする図書のリストの作成 足りないものを購入するか寄贈をお願いする。
ビデオなども揃え、鑑賞ができるようにする。

2、森田療法普及活動

年に2回の講演会 5月と11月に行なう

秋の講演会には、「生活の発見会」の会員の方に体験談をお願いする。

ビデオの鑑賞会も開催する。

展示場を借りて、森田療法関係の展示を行なうことも考える。

3、パンフレット、ニュースの作成と配布

4、これらの活動のために、次の方に役員をお願いし、ご了承をいただきました。

大谷 鈴代 氏 生活の発見会会長

外口 玉子 氏 かがやき会理事長

秋の講演会とビデオ鑑賞会のお知らせ

- 1、講演：青年期の閉じこもりと森田療法（仮題） 中村 敬 先生（慈恵医大）
体験談 森田療法を生活に生かして （生活の発見会会員）
司会：増野肇（ルーテル学院大学）
日時：2001年 11月 24日（土曜日） 14:00 ～ 16:00
場所：就労センター「街」 3階ホール
参加費：2500円（会員：1500円）

現在増加中の青年期の閉じこもりについて、臨床の場で取り組んでおられる慈恵医科大学の中村敬先生にお話をさせていただきます。森田療法が、どのような人に効果があり、どのように森田療法を活用するかが語られます。

また、森田療法を集団学習に取り入れ、生活のなかに生かしている「生活の発見会」の会員の方から、実際の体験談をお話いただきます。

- 2、ビデオ「常盤台神経科」 鑑賞会 解説：丸山 晋 先生（淑徳大学教授）
日時：2001年 11月 21日（水曜日） 18:00 ～ 20:30
場所：就労センター「街」 3F 参加費：1,500円（会員：1,000円）

岡本財団の協力で作成されている森田療法に関するビデオシリーズのひとつです。藤田千尋会長の運営する常盤台神経科を舞台に、対人恐怖の女性が、森田療法を実践して、明るい表情で退院されるまでを描いています。森田療法の理解に役立ちます。制作に協力されている丸山先生が解説をされます。

会員の皆様への報告とご協力のお願い

- * 会計の予算案を作成しました。就労センター「街」の方に、掃除、図書の整理、お客さんへの案内などの運営のお仕事を、月に2万円で委託しました。
そのためには、会員が100人ぐらいと考えています。現在は60人です。さらに関心のある方をお誘いいただければと思っています。秋の講演会や映写会にお誘いください。
- * 高良武久先生のご遺族から寄贈された図書を整理いたしました。森田療法、精神医学、精神保健、その他という区分で整理しています。図書のリストもできましたので、そこにはない書籍で寄贈いただけるものがあれば、よろしく願いいたします。ご連絡をください。
（福井記念病院の福井東一先生のご遺族からも寄贈をいただきました）
- * このニュースを「あるがまま」と仮に名付けましたが、皆さんのご意見をお知らせください。